

氏名	岡田茂治	部署	健康開発学科 検査技術科学専攻	職名	准教授
研究分野	一般臨床検査学				
学位	博士（医学）				
学歴	昭和58年3月埼玉衛生短期大学衛生技術学科卒業、平成12年3月放送大学卒業、平成28年3月順天堂大学医学研究科（博士課程）卒業				
経歴	昭和58年4月埼玉県職員採用埼玉県立がんセンター配属、平成15年4月埼玉県立循環器・呼吸器病センターへ異動、平成21年4月埼玉県立がんセンターへ異動、令和1年4月埼玉県立大学健康開発学科検査技術科学専攻准教授採用				
所属学会（役職）	日本臨床衛生検査技師会、埼玉県臨床検査技師会、日本臨床検査機器				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	A prediction of late cervical lymph node metastasis by ultrasound images of tongue cancer using deep learning method	共著	あり	○	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, Volume 36, Issue 3, Pages 295-299	Koichi Kadoya, Kazuhiro Yagihara, Junichi Ishii, Miki Katsurano, Aayataka Ishikawa, Yusoon Kim, Mari Shibata, <u>Shigeharu Okada</u> , Kei Sakamoto, Jun Sumino
2	教育シンポジウム：カリキュラム改訂後、今後求められる臨床検査技師教育および卒業教育・資格、～生殖補助医療（ART）科目の必要性～	単著	あり		臨床検査学教育 Vol.16, No.1 p.45～50	<u>岡田茂治</u>
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	尿中異型細胞のAI(deep learning)判定モデル作製の試み	共同	第51回埼玉県医学検査学会 大宮	橘 宙香(埼玉県立大学 健康開発学科検査技術科学専攻), 伊藤 真希, 宮澤 夏帆, <u>岡田茂治</u> , 小関 紀之	2023.12.3	
2	学内や自宅で学習できる一般臨床検査学バーチャル顕微鏡教材-尿沈渣-の作成糸球体型赤血球を中心に	共同	第51回埼玉県医学検査学会 大宮	伊藤 真希(埼玉県立大学 健康開発学科検査技術科学専攻), 橘 宙香, 宮澤 夏帆, <u>岡田茂治</u>	2023.12.3	
3	膀胱細胞診における画像認識AI(Deep learning法)の開発	共同	第72回日本医学検査学会 高崎	田近 洋介(済生会富山病院), 中島 悠樹, 折田 恵, <u>岡田茂治</u>	2023.5.20	
4	穿刺液検査における画像認識AI(Deep Learning法)の開発	共同	第72回日本医学検査学会 高崎	保科 ひづる(諏訪中央病院), <u>岡田茂治</u>	2023.5.21	
5	精度保証を目指した尿蛋白定性検査のValidation(検証)	共同	日本医療検査科学会第55回大会	織田 喜子(越谷市立病院 臨床検査科), <u>岡田茂治</u> , 杉村 楓, 桑原 千津香, 前田 友子, 須長 菜々美, 渋谷 賢一	2023.10.06	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					

2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	受託研究	尿検体中の有形成分の画像データの取得、異型細胞画像の特定	共同研究	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日
2	受託研究	線虫の基礎的検討	共同研究	令和5年11月1日～ 令和6年10月31日
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	一般臨床検査学	○	16	基本的考え方や知識だけでなく臨床疾患との結びつけた
2	臨床検査管理総論	○	16	臨地実習にあたり必須な内容を盛り込んだ
3	臨床検査概論		1	1年生の最初の講義であることから、初学者にも理解できる臨床検査として概要を解説した
4	検査機器総論		3	臨床検査機器の最新情報とその臨床的意義、管理の重要性について解説した
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	検査管理演習	○	16	4年生対象科目なので、臨床現場での検査管理法、研究手法など実践面をテーマにした演習を実施した
2	IPW演習		16	学生が自主的にグループワークができるようファシリテーターとしてサポートした。
3	臨床検査基礎演習	○	16	1年生を対象とし、臨床検査学を意義付ける内容とした。また県内病院の施設見学も実施した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	一般臨床検査学実習	○	24	臨床検査の標準化に準じた、基本技術の習得を行い、最新の機器とメンテナンスについても対応した
2	ヒューマンケア体験実習		20	学内実施であったので、学生が自主的にグループワークができるようファシリテーターとしてサポートした。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.4～2024.3	主指導 4	副指導
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	国際医療専門学校	2023.4～2024.3	精度管理学、臨床検査医学Ⅰ、Ⅱを非常勤講師として担当した	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	第33回関甲信・首都圏支部一般検査研修会	日本臨床衛生検査技師会	一般検査とAI	2023.10.14
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本臨床衛生検査技師会	査読委員		2022.07.23～ 2024.6.22
2	日本臨床衛生検査技師会	出版委員会		2022.07.23～ 2024.6.22
3	埼玉県臨床検査技師会	編集委員会査読委員		2022年度 ～2023年度
4	埼玉県臨床検査技師会	精度保障施設認証委員会		2022年度 ～2023年度

(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	就職進路		2023.4～2024.3
2	学科等における委員会等	3年生担任		2023.4～2024.3
3	学科等における委員会等	専門職連携部会委員		2023.4～2024.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			